

委員会の主な活動状況

(9/11～10/10)

文教委員会

「フリースクールに通う児童生徒の家庭を支援するための公的補助に関する陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(10/5)

経済観光委員会

令和元年8月24日に発生した札幌もいわ山ロープウェイ搬送機衝突事故後の対応状況に関する報告について、経済観光局から説明を受け、質疑を行いました。(10/5)

大都市税財政制度・災害対策調査特別委員会

大都市財政の実態に即応する財源の拡充についての要望（通称～「青本」）について、財政局から説明を受け、質疑を行いました。(9/15)

総合交通政策調査特別委員会

「北海道新幹線札幌トンネル工事により発生する要対策士の受け入れ候補地として山口処理場を選定したこと」に関して、調査の中止と住民説明会の開催を求める陳情」の初審査を行い、不採択とすべきものと決定しました。また、「北海道新幹線札幌トンネル工事により発生する要対策士の受け入れ候補地から山口処理場の除外を求める陳情」の初審査および「北海道新幹線札幌トンネル工事に伴う要対策士の受け入れ候補地に関する陳情」の審査を行い、継続審査としました。(10/2)

新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会

新型コロナウイルス感染症対策に係る報告について、危機管理対策室から説明を受け、質疑を行いました。(9/14)

新型コロナウイルス感染症「これまでの対応の点検と今後の取組」等の報告について、危機管理対策室、保健福祉局から説明を受け、質疑を行いました。また、「新型コロナウイルス感染拡大で苦しむ介護事業所への支援を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(10/7)

第一部・第二部決算特別委員会

副委員長の互選、理事制の設置、審査日程などを決定しました。(10/1)

令和元年度の決算を審査しました。(10/8)

- 編集 札幌市議会事務局 政策調査課
- ☎211-3164 FAX218-5143
- 市議会ホームページ www.city.sapporo.jp/gikai



アイヌ文化交流センターの魅力アップ

いしかわ さわ子
市民ネットワーク北海道

アイヌ文化に対する市民の理解をより一層深めるため、札幌市アイヌ文化交流センターの魅力さをさらに高めるべきだと考えますが、どのように取り組めますか。

答 昨年度から、アイヌ政策推進交付金を活用し、展示物の更新などに着手しています。今後は、来館者が気軽に刺しゅうや木彫り体験ができる場を設けるなど、魅力ある施設づくりを進め、1人でも多くの市民にアイヌ民族への理解を深めていただけるよう取り組みます。



第3回定例会

(10/10までに可決した議案など)

○令和2年度補正予算

- 主に、次の内容で総額459億7,940万円を補正するものです。
- ・感染症予防費（高齢者のインフルエンザ予防接種に係る経費など）
 - ・発熱外来整備費
 - ・文化芸術活動再開支援費
 - ・市内宿泊促進キャンペーン費（「さあ！サッポロ冬割」など）

○札幌市税条例の一部を改正する条例案

など、合計19件の議案を可決しました。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、採決時を除き、登壇議員のうち議場への出席議員の人数を調整しています。



区役所の機能強化

おだ まさひろ
小田 昌博
自由民主党

住民に身近な意思決定を可能にするため、今後、各区役所においてどのように取り組み、それを政策として実現していきますか。また、そのために各区役所の権限をどのように強化し、都市内分権を推進しますか。

答 区の地域性や特色を生かした事業を個別に計画しているほか、身近な地域のまちづくり活動を支援しています。また、区の予算要望システムにより区の意向を踏まえた事業を展開しています。今後も、区民協議会やまちづくり協議会などで議論を重ねた上で、区の独自性や個性を尊重したまちづくりを進めます。



受動喫煙対策

あおい ひろみ
民主市民連合

本年2月に行った「さっぽろ受動喫煙防止宣言」の市民周知と受動喫煙対策の推進について、今後の取り組みと方向性はどのようなものですか。

答 宣言では、市民・事業者・行政などの役割を示し、具体的な行動につながることを目指しており、パネル展示や広報さっぽろでの記事掲載、宣言ロゴマーク作成など、市民への啓発に取り組んでいます。今後、飲食店などの受動喫煙対策の徹底を図るとともに、多くの市民に理解を深めていただき、受動喫煙のない、さわやかなまち札幌を実現していきます。



らにこの冬、イベントや展示などを行い市民が文化芸術に触れる機会とし、次の芸術祭への期待感につなげていきます。また、記録化を行う中で、改めて運営手法や企画内容を検証するとともに、感染症による環境の変化も踏まえ、次回開催に向けた検討も進めていきます。



コロナ禍における脱炭素社会に向けた取り組み

こぐち ともしさ
小口 久久
公明党

気候変動対策の推進とウィズコロナ、アフターコロナの課題を同時に解決するため、高効率換気設備などさまざまな技術の活用によりエネルギー消費量を大幅に削減したゼロエネルギービル（ZEB）を、率先して市有施設に導入すべきだと考えますが、いかがですか。

答 ZEBで使われる技術の中には、暖房エネルギーを削減しながら換気ができる高効率換気設備などのように、感染症予防にも効果的なものがあると認識しています。今後は、市有施設のZEB化の検討を進め、気候変動対策と感染症予防の両立を図っていきます。



PCR検査拡大に向けた要員の確保と体制づくり

たなか けいすけ
田中 啓介
日本共産党

市長は、今後の新型コロナウイルスの感染拡大に備え、PCR検査と抗原検査の数を1日当たり3,900件とする補正予算案を提出しました。今後は、検査の拡大にふさわしい要員の確保と検査を受けやすい体制づくりが肝要となりますが、どのように取り組む考えですか。

答 検査能力拡大のため、医療機関や民間検査機関に引き続き協力を求めるとともに、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備え、相談体制の強化や唾液による検査の拡充など、より検査を受けやすい体制を構築します。



市議会の動き

9月23日に招集された第3回定例会の中から、9月29日、30日、10月1日の代表質問の主な内容や、10月10日までに可決した議案などについてお知らせします。

新型コロナウイルスに伴う医療・介護・障がい・子ども関連施設の体制と対応

まつい たかみ
松井 隆文
自由民主党

インフルエンザなどの流行を念頭に置くと、冬に向けた新型コロナウイルスへの備えが重要です。市民の混乱や感染拡大が起こらないよう医療・介護・障がい・子ども関連施設ではどのような体制づくりや対応をしますか。

答 医療機関に働きかけ、発熱患者増加に対応した医療提供体制を構築し、また、電話相談窓口を拡充します。介護・障がいの施設には、研修会実施や専門家派遣などのほか、医療・福祉の両面から必要な支援を行います。子どもが利用する施設では、関係機関と連携し、保護者などが混乱しないよう情報周知を徹底します。



札幌国際芸術祭

いわさき みちろう
岩崎 道郎
民主市民連合

札幌国際芸術祭2020の中止を受け、今後どのような企画を進めていきますか。また、次回2023年の開催に向けた現時点の考えはいかがですか。

答 実現しようとしていた企画内容について多くの方々知ってもらうため、記録化し、公表する予定です。さ

